

本校の複式学級について

高知大学教育学部附属小学校

1 設置の目的

本校は、普通初等教育を行うとともに、大学に付設された小学校として、大学の研究並びに教育実習生の教育に努めています。また、研究実践の成果を広く公開し、本県における学校教育の振興に寄与しております。

そのため、以下の目的をもって、複式学級を3学級設置しています。

- (1) 複式学級の教育課程並びに学習指導法の望ましいあり方を研究する。
- (2) 複式編制及び少人数指導編制による学習指導のあり方を研究する。
- (3) 教育実習生に複式学級の指導の場を設ける。
- (4) 研究成果を広く公開し、本県の複式教育に寄与する。

2 研究の経過

本県は全国でもへき地の多い県であり、複式学級を有する学校が多いという実情から、本校では戦前より複式学級の研究を行っています。一時期中断はありましたが、昭和40年より研究を再開し、現在のような3学級を設置しました。このように、本校の複式教育研究は長い歴史があります。

その後、年を追って複式教育研究の態勢は次第に充実し、その研究成果は県内のみならず県外においても評価されています。また、複式教育研究協議会を毎年開催し、研究成果の発表を行っております。

3 学級編制の基準

本校の複式学級は、隣接2学年の児童を次の基準で編制しています。

- (1) 1・2年学級、3・4年学級、5・6年学級の3学級とする。
- (2) 1学級は、各学年8名（男女各4名）計16名とする。
- (3) 複式学級を編制する児童は、入学選考の結果、本校に入学を許可された者の中から選定する。
- (4) 複式学級に2か年在籍した児童は、単式学級の児童と交替することを原則とする。

以上のとおり、新1年生に入学を許可された児童の中から、男女各4名（計8名）が1・2年学級E組の複式学級に編制されますので、あらかじめご承知おきください。